

会場＆
ライブ配信
参加無料

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

革新的医療技術創出拠点

令和7年度

成果報告会

医療イノベーション推進の“処方箋”とは？ ～連携がもたらす効率化・実用化・国際化

革新的医療技術創出拠点では、橋渡し研究支援・臨床研究支援基盤を強化・充実化し、シーズ開発および実用化を推進することを目的に、文部科学大臣認定の橋渡し研究支援機関が実施する「橋渡し研究支援プログラム（橋渡し事業）」と「大学発医療系スタートアップ支援プログラム（SU事業）」、および厚生労働大臣承認の臨床研究中核病院が実施する「医療技術実用化総合促進事業（臨中事業）」に取り組んでいます。

本年度の成果報告会では、【医療イノベーション推進の“処方箋”とは？】というテーマで、昨年の「有効成分（何が必要か？）」「から「処方箋（どう実践するか？）」へ発展させ、具体的な実装方法にフォーカスし議論します。さらに【連携がもたらす効率化・実用化・国際化】をサブタイトルに、橋渡し事業による「産学官連携、事業間連携、拠点間連携」、SU事業による「連携によるスタートアップ支援」、臨中事業による「国際展開、治験DXの推進、医療系ベンチャー支援」など、各事業が取り組む“連携”をKey Wordとして、連携がもたらす“未来”についても議論を行います。

参加される皆様にとって、この成果報告会が“未来”に繋がる有意義な時間になることを願っています。

日時

令和8年2月26日(木) 13:30-17:20
27日(金) 9:30-17:10

【オンデマンド配信】令和8年
3月3日(火)～3月19日(木) (予定)

【デジタルポスター配信】令和8年
2月19日(木)～3月19日(木) (予定)

※革新拠点等の成果や取組みに関するポスターを
WEB掲載し、一部については現地発表も行います。

実施会場

大手町プレイス ホール&カンファレンス 2Fホール
〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1 大手町プレイス(イーストタワー) 2F

Access

東京駅 丸の内北口より徒歩約7分

(JR山手線・京浜東北線・東海道新幹線)

大手町駅 A5 出口より徒歩1分(直結)

(東京メトロ丸の内線・東西線・千代田線・半蔵門線、都営地下鉄三田線)



申込方法

事前
申込制

下記ホームページよりお申込みください。

QRコードからもアクセスできます。▶▶▶

<https://k3rws.stage.ac/amed2025kyoten/>



定員：会場300名 当日ウェブ配信参加 600名

※定員に達し次第、締め切りとなります。

なお、オンデマンド配信、デジタルポスター配信の閲覧のみの場合にも
申込みが必要となります。申込み後、閲覧用のURLをお知らせします。



国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 橋渡し・臨床加速事業部
東京都千代田区大手町 1-7-1 読売新聞ビル 22階 <https://www.amed.go.jp/>

お問い合わせ 「令和7年度成果報告会」運営事務局 (株式会社ステージ内)
amed2025kyoten@stage.ac

2月26日 木 13:30-17:20

13:30 }	開会挨拶 ■中釜 斉 日本医療研究開発機構 理事長 来賓挨拶
13:50 }	連携がもたらす未来 パネルディスカッション ■金田安史 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 エグゼクティブアドバイザー 橋渡し・臨床加速化プロジェクト プログラムディレクター〈座長〉 ■古賀宣勝 日本医療研究開発機構 橋渡し・臨床加速事業部 部長〈座長〉 ■金倉 譲 住友病院 院長 橋渡し研究支援プログラム プログラムスーパーバイザー ■楠岡英雄 国立病院機構 名誉理事長 医療技術実用化総合促進事業 プログラムスーパーバイザー ■久保庭均 Renzoku Biologics 株式会社 代表取締役 CEO 大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムスーパーバイザー
15:30 }	ポスター発表コアタイム 橋渡しコンシェルジュ(よろず相談受付)
16:15 }	大学発医療系スタートアップ支援プログラム 講演とパネルディスカッション ～医療系スタートアップ支援における連携～ ■久保庭均 Renzoku Biologics 株式会社 代表取締役 CEO 大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムスーパーバイザー〈座長〉 ■島崎 誠 Ehrlich Partners 合同会社 代表社員 大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムオフィサー〈座長〉 < 講演内容 > 医療系スタートアップ支援拠点における取り組み 医療系スタートアップ支援拠点 (筑波大学・国立がん研究センター・慶應義塾・九州大学)
17:15 }	1日目 終了挨拶 ■久保庭均 Renzoku Biologics 株式会社 代表取締役 CEO 大学発医療系スタートアップ支援プログラム プログラムスーパーバイザー

2月27日 金 9:30-17:10

9:30 }	2日目 開始挨拶 ■楠岡英雄 国立病院機構 名誉理事長 医療技術実用化総合促進事業 プログラムスーパーバイザー
9:35 }	医療技術実用化総合促進事業 講演 ～連携がもたらす国際化～ ■渡邊裕司 浜松医科大学 学長 医療技術実用化総合促進事業 プログラムオフィサー〈座長〉 ■中村健一 国立がん研究センター中央病院 国際開発部門 部門長／ 病院長特任補佐／臨床研究支援部門 臨床研究責任者〈座長〉 < 講演内容 > 国際展開の取り組み、海外派遣
11:00	休憩
11:10 }	医療技術実用化総合促進事業 講演 ～連携がもたらす効率化・実用化～ ■近藤充弘 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 運営幹事 医療技術実用化総合促進事業 プログラムオフィサー〈座長〉 ■秋山祐治 川崎医科大学 副学長 医療技術実用化総合促進事業 プログラムオフィサー〈座長〉 < 講演内容 > RBA実装、臨中ネット、治験DX、FMV導入、AI活用、ベンチャー支援に関する取り組み < 総括 > ■楠岡英雄 国立病院機構 名誉理事長 医療技術実用化総合促進事業 プログラムスーパーバイザー
12:30	昼休憩
13:30 }	橋渡し研究支援プログラム 講演 ～産学官連携・事業間連携の相乗効果～ ■田代 聡 広島大学 原爆放射線医科学研究所 副所長／教授 橋渡し研究支援プログラム プログラムオフィサー〈座長〉 ■朔啓太 国立循環器病研究センター 循環動態制御部 室長 橋渡し研究支援プログラム プログラムオフィサー〈座長〉 < 講演内容 > 橋渡し研究支援機関のうち8機関からの産学官連携、事業間連携に係る取り組み 橋渡し研究支援機関 (北海道大学・東北大学・筑波大学・国立がん研究センター・ 東京大学・慶應義塾・名古屋大学・藤田学園・京都大学・ 大阪大学・岡山大学・九州大学)
15:00 }	ポスター発表コアタイム 橋渡しコンシェルジュ(よろず相談受付)
15:30 }	橋渡し研究支援プログラム 講演 ～拠点間連携の効能・効果～ 拠点間連携の処方箋 パネルディスカッション ～併用での“用法用量”～ ■金倉 譲 住友病院 院長 橋渡し研究支援プログラム プログラムスーパーバイザー〈座長〉 ■稲垣治 前 日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 運営委員会幹事 橋渡し研究支援プログラム プログラムオフィサー〈座長〉 < 講演内容 > 橋渡し研究支援機関のうち4機関からの拠点間連携に係る取り組み
17:05 }	2日目 終了挨拶 ■金倉 譲 住友病院 院長 橋渡し研究支援プログラム プログラムスーパーバイザー

会場&ライブ配信
参加無料

革新的医療技術創出拠点 令和7年度 成果報告会

※敬称略。プログラムは変更になる場合がございます。予めご了承ください。